

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】

令和3年度事業実施状況及び効果検証に関する資料

事業No	5	事業名	節婦老人憩の家光回線及びWi-Fi整備	事業期間	開始/令和3年8月～終了/令和4年3月
------	---	-----	---------------------	------	---------------------

事業実績額 269,989円

事業実施所管 町民生活課町民生活グループ社会係

事業の概要	[目的]	指標	対象施設	説明		
	国の高度無線環境整備推進事業で光回線を整備した地区の節婦老人憩の家にWi-Fi環境を整備し、介護予防教室などの実施時に感染予防対策としてリモートによる事業を行う際の安定した通信速度を整備する。		計画値	1		
			実績値	1		
事業の概要	[対象] 施設利用者	[事業の評価・効果検証]				
	[内容] 光回線及びWi-Fi環境整備一式 ○通信運搬費 58,410円 内訳 6,490円/ヶ月×9ヶ月(7月～3月) = 58,410円(税込)  ○手数料 224,180円 内訳 ・基本工事料 20,680円 (回線終端装置・交換機等・契約料含) ・LANケーブル配線工事 50,000円 ・機器設置工事 50,000円 ・ルーター 40,000円 ・アクセスポイント 30,000円 ・アクセスポイント用給電器 15,000円 消費税 18,500円 合計 224,180円	<p><b>【節婦地区における介護予防教室】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開催時期 10月から2月(週1回)</li> <li>昨年度、コロナ過の影響から、節婦老人憩の家においてポケットWi-Fiを活用したリモートによる介護予防教室事業を実施したが、通信が途切れる影響が出たことから当該施設での事業を諦め、レ・コード館において事業を開催した経過があり、利便性向上を図るためにWi-Fi環境を整備するもの。</li> </ul> <p>当初予定していた、リモートでの教室開催と内容は異なったが、WiFi環境を活用した事業実施をすることができた。また、昨年度のようなインターネット環境での不具合等は無かったため、本事業で環境整備したことにより、次年度以降の活用も視野に入れることができるようになった。</p>				
事業実施状況	[事業実績] 光回線及びWi-Fi環境整備 ○通信運搬費 45,809円 内訳 6,380円/ヶ月×7ヶ月(8月～2月) = 44,660円(税込) 1,149円/ヶ月×1ヶ月(7月) = 1,149円(税込)  ○手数料 224,180円 内訳 上記事業概要と相違なし	[今後の取組み] ・次年度以降、新型コロナウイルス感染症対策を講じた事業の開催時に活用する。				
備考						

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】

令和3年度事業実施状況及び効果検証に関する資料

事業No	12・29	事業名	感染症対策強化版図書管理・貸出システム導入事業	事業期間	開始/令和3年9月 ～ 終了/ 令和4年3月
------	-------	-----	-------------------------	------	------------------------

事業実績額 **10,780,000円**

事業実施所管 **社会教育課 社会教育グループ 図書係**

事業の概要	[目的] 『非接触型セルフ貸出システム』『センサー式（非接触型）検索システム』を搭載した図書管理システムの導入により、混雑解消、対面回避、3密の回避を図り、感染リスクを低減させ、安心して利用できる図書施設の運営を図るもの。	指標	3年度	説 明	
			計画値		50%
			実績値		17%
事業の概要	[対象] 町民（図書館利用 来館者・登録者）	[事業の評価・効果検証]  ○非接触型 セルフ貸出機の導入 図書貸出を利用者自らが操作処理することで、カウンター職員等との接触機会減少により感染リスクが低減された。セルフ貸出機の利用は、小学生から高齢者まで幅広い世代から利用されている。  ○センサー式検索機の導入 従前のタッチ式パネルの検索システムから、センサー式（非接触）の検索機を導入したことで、感染リスクとなる不特定多数が触れる箇所を減らすことができた。  ○WEBサービスの充実 新システム導入によりWEB上のサービスがスマートフォンやタブレットで操作しやすくなったことから、図書検索が効率的になり来館時の滞在時間が短縮された。これにより来館者にとって感染リスクが回避できる安心安全な環境が整備された。また、利用者自身が利用状況を管理できるマイポータルメニューの機能が拡充し、貸出履歴の管理ができるようになるなど利用者の読書環境の充実も図ることができている。			
	[内容] セルフ貸出機(非接触型) 1台・・・非接触型セルフ貸出システム 館内検索機(非接触型) 1台・・・センサー式検索システム カウンター業務端末 2台 移動図書館車・学校図書室端末 4台 ソフトパッケージ及び導入費用一式				
事業実施状況	[事業実績]  感染症対策強化版図書管理・貸出システム導入一式 10,780,000円	「実績値について」（セルフ貸出機の利用割合） 新システム及びセルフ貸出機の稼働にあたり、利用者の登録情報（氏名・住所等）の確認、機器の操作説明、利用促進案内が必要であったため、導入時期となった実績期間中は低い利用数値となっている。			
		[今後の取組み]  セルフ貸出機の操作案内やポータルメニュー機能の周知活動を行い、安心安全な図書施設の利用環境の浸透を図る。 また、貸出予約の通知、新刊案内やイベント告知など利用者へダイレクトメールで情報発信することで、感染症予防を図りながら施設の利用促進を図る。			
備考					

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】

令和3年度事業実施状況及び効果検証に関する資料

事業No	13	事業名	集会施設避難所Wi-Fi整備事業	事業期間	開始/令和3年7月 ~ 終了/ 令和4年3月
------	----	-----	------------------	------	------------------------

事業実績額 7,260,000円

事業実施所管 総務課総務グループ防災係

事業の概要	<p>[目的]</p> <p>国の高度無線環境整備推進事業で光回線を整備した地区の避難所となる集会施設において、災害時に安否確認や情報収集のために利用できるよう無線LAN (Wi-Fi) 施設を整備することを目的とする。</p>	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>設置箇所数</td> <td></td> <td></td> <td>説</td> <td>明</td> </tr> <tr> <td>指標</td> <td>計画値</td> <td>12</td> <td></td> <td colspan="2">各設備（アクセスポイント及び監視カメラ）の設置箇所数</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td>12</td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>		設置箇所数			説	明	指標	計画値	12		各設備（アクセスポイント及び監視カメラ）の設置箇所数			実績値	12			
		設置箇所数			説	明														
	指標	計画値	12		各設備（アクセスポイント及び監視カメラ）の設置箇所数															
	実績値	12																		
<p>[対象]</p> <p>集会施設避難所 7施設 大狩部生活センター、共栄生活館、東川生活センター、新和生活館、美宇生活センター、太陽開拓婦人ホーム、里平生活センター</p> <p>[内容]</p> <p>○集会施設への無線LANアクセスポイントの開設工事費 集会施設7施設 合計 7,392,000円</p> <p>○アクセスポイント維持経費 光回線、アクセスポイント使用料、施設保守経費</p>	<p>[事業の評価・効果検証]</p> <p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所となる集会施設において、公衆用の無線LANを使用できるようになり、災害時に携帯電話等の通信が込み合って使用できなくなった場合にも、安否確認や各種情報収集が可能となる。</li> <li>・セキュリティ確保のため、災害発生時若しくは発生が予測される場合に、避難者は認証登録なしでサービスを利用できるよう開放が可能（役場庁舎で制御）</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集会施設周辺地域の住民への理解及び認知度の向上。</li> </ul>																			
<p>[事業実績]</p> <p>R1 国の高度無線環境整備推進事業により節婦町・新冠沢エリアの光回線を整備</p> <p>R2 避難所公衆無線LAN整備等事業により本町多目的交流センター、泊津生活館、新栄開拓婦人ホーム及び節婦避難所の4ヶ所に無線LANアクセスポイントを整備し、節婦漁港に潮位監視カメラを設置</p> <p>R2 国の高度無線環境整備推進事業により大狩部・共栄・東川・美宇・新和・太陽・里平エリアの光回線を整備</p>	<p>[今後の取組み]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌、ホームページ及びインターネットを活用し住民理解、認知度を高めていき災害時におけるスムーズな利用を促進する。</li> <li>・利用可能施設への案内表示の設置、ホームページへの利用案内掲載。</li> </ul>																			
備考																				

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】

令和3年度事業実施状況及び効果検証に関する資料

事業No	16	事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業	事業期間	開始/令和3年5月 ~ 終了/ 令和4年3月
------	----	-----	------------------	------	------------------------

事業実績額 2,270,857円

事業実施所管 **保健福祉課保健福祉グループ福祉係**

事業の概要	[目的] 町民、社会福祉事業所等への配布や公共施設開設維持のためのサージカルマスクや消毒液等を購入・備蓄する事で新型コロナウイルス感染症拡大防止を図る。	指 標		R2	R3		説 明																														
	[対象] 全町民 ほか		計画値	配布回数 10回	配布回数 12回																																
	[内容] 町民、社会福祉事業所等への配布や公共施設開設維持のため、サージカルマスクや消毒液等の消耗品を購入・備蓄する。		実績値	配布回数 10回	配布回数 2回		※高齢者及び全町民を対象としたサージカルマスク配布回数を掲載。																														
事業実施状況	[事業実績] 購入等実績 消耗品 1,940,447円 サージカルマスク 消毒液 ペーパータオル 印刷製本費 98,670円 マスク配布用封筒の印刷費 役務費 231,740円 マスク配布用の郵便料	[事業の評価・効果検証]  【評価】 町民（高齢者等、透析、妊産婦、医療ケア児等）への配布用及び公共施設開設維持のためのサージカルマスクや消毒液等を購入・備蓄・配布する事で新型コロナウイルス感染症拡大防止を図る事ができた。																																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>配布</th> <th>対象者</th> <th>配布回数</th> <th>配布実績</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">サージカルマスク</td> <td>透析患者</td> <td>1回</td> <td>1,350枚</td> <td rowspan="4">45,880枚</td> </tr> <tr> <td>高齢者等</td> <td>2回</td> <td>27,960枚</td> </tr> <tr> <td>妊産婦</td> <td>10人</td> <td>500枚</td> </tr> <tr> <td>公共施設職員・委託業者</td> <td>3回</td> <td>16,070枚</td> </tr> <tr> <td>手指消毒液</td> <td>療養手帳・在宅ケア</td> <td>1回</td> <td>13本 (500ml)</td> <td>13本</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">次亜塩素酸水</td> <td rowspan="2">全町民及び事業者</td> <td>個人</td> <td>延べ 84件</td> <td rowspan="2">171件 (事業所含む)</td> </tr> <tr> <td>事業所</td> <td>延べ87事業所</td> </tr> </tbody> </table>						配布	対象者	配布回数	配布実績	累計	サージカルマスク	透析患者	1回	1,350枚	45,880枚	高齢者等	2回	27,960枚	妊産婦	10人	500枚	公共施設職員・委託業者	3回	16,070枚	手指消毒液	療養手帳・在宅ケア	1回	13本 (500ml)	13本	次亜塩素酸水	全町民及び事業者	個人	延べ 84件	171件 (事業所含む)	事業所
配布	対象者	配布回数	配布実績	累計																																	
サージカルマスク	透析患者	1回	1,350枚	45,880枚																																	
	高齢者等	2回	27,960枚																																		
	妊産婦	10人	500枚																																		
	公共施設職員・委託業者	3回	16,070枚																																		
手指消毒液	療養手帳・在宅ケア	1回	13本 (500ml)	13本																																	
次亜塩素酸水	全町民及び事業者	個人	延べ 84件	171件 (事業所含む)																																	
		事業所	延べ87事業所																																		
備考	[今後の取組み] 今後において、マスク等の消耗品等の備蓄を継続し、感染拡大した場合等において、町民等への配布を行い、新型コロナウイルス感染拡大予防を図る。																																				

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】

令和3年度事業実施状況及び効果検証に関する資料

事業No	17	事業名	乳幼児健診事業	事業期間	開始/令和3年7月 ~ 終了/ 令和4年3月
------	----	-----	---------	------	------------------------

事業実績額 97,440 円

事業実施所管 保健福祉課保健福祉グループ健康推進係

事業の概要	[目的] コロナ禍において道南バスペガサス号が減便されており、医師送迎費用を確保することで、乳幼児健診を継続実施いたします。	指標	受診率			説明																											
		計画値	100%																														
		実績値	95.2%																														
事業実施状況	[対象] 町内の4ヶ月児、7ヶ月児、12ヶ月児、1歳6ヶ月児、3歳児とその保護者。	[事業の評価・効果検証]																															
	[内容] 乳幼児健診実施継続の為の費用 医師送迎旅費（高速使用料含む）新冠一札幌 健診10回	<p>【評価】</p> <p>コロナ禍において道南バスペガサス号が減便される中、乳幼児健診を継続する為に新冠一札幌間の医師送迎費用を確保する事で乳幼児健診を実施する事ができました。さらに送迎を路線バスから個別対応する事で三密対策となり、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する事ができました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>健診名</th> <th>対象者</th> <th>受診数</th> <th>受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4ヶ月児</td> <td>19人</td> <td>19人</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>7ヶ月児</td> <td>21人</td> <td>21人</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>12ヶ月児</td> <td>27人</td> <td>26人</td> <td>96.3%</td> </tr> <tr> <td>1歳6ヶ月児</td> <td>26人</td> <td>23人</td> <td>88.5%</td> </tr> <tr> <td>3歳児</td> <td>31人</td> <td>29人</td> <td>93.5%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>124人</td> <td>118人</td> <td>95.2%</td> </tr> </tbody> </table>					健診名	対象者	受診数	受診率	4ヶ月児	19人	19人	100%	7ヶ月児	21人	21人	100%	12ヶ月児	27人	26人	96.3%	1歳6ヶ月児	26人	23人	88.5%	3歳児	31人	29人	93.5%	合計	124人	118人
健診名	対象者	受診数	受診率																														
4ヶ月児	19人	19人	100%																														
7ヶ月児	21人	21人	100%																														
12ヶ月児	27人	26人	96.3%																														
1歳6ヶ月児	26人	23人	88.5%																														
3歳児	31人	29人	93.5%																														
合計	124人	118人	95.2%																														
	[事業実績] 乳幼児健診実施継続の為の費用 乳幼児健診時送迎旅費 54,000円 高速道路使用料 43,440円 合計 97,440円	[今後の取組み] 今後においても、道南バスペガサス号の減便が継続となっている場合には、医師送迎対応を行い乳幼児健診を継続実施いたします。																															
備考																																	

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】

令和3年度事業実施状況及び効果検証に関する資料

事業No	18	事業名	PCR検査費用補助事業	事業期間	開始/令和3年6月 ~ 終了/ 令和4年3月
------	----	-----	-------------	------	------------------------

事業実績額 2,778,502 円

事業実施所管 保健福祉課保健福祉グループ健康推進係

事業の概要	[目的] 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、PCR任意検査費用の一部を補助することにより、感染拡大を防止する。	指標		R2	R3	説明 ※指標は補助件数
			計画値	200件	124件	
			実績値	13件	161件	
事業実施状況	[対象] 任意のPCR検査を受けた町民。	[事業の評価・効果検証]				
	[内容] 検査費用の2/3を補助（上限20,000円）。	<p>【評価】</p> <p>新冠町民の無症状者又は新冠町内の事業所に勤務している従業員の陽性が確認され会社負担で実施する新型コロナウイルス感染症の判定のための任意のPCR検査の費用の一部を補助することにより、町民の心理的不安及び経済的負担の軽減及び事業所の経営継続に繋がり、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図る事ができた。</p>				
事業実施状況	[事業実績] 令和2年度 創設 検査実施件数 13件 補助実績 164,300円	[今後の取組み] 今後においても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防を図り、町民の不安解消や事業所の経営継続を一助になるよう補助制度を継続する。				
	令和3年度 補助対象事業所拡充 (従業員に陽性となった場合の事業継続の為の検査) 事業所 78件 補助実績 1,560,000円 個人 83件 補助実績 1,218,502円 合計 161件 補助実績 2,778,502円					
備考						

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】

事業実施状況及び効果検証に関する資料

事業No	19	事業名	介護資格取得経費助成事業	事業期間	開始/令和3年8月 ~ 終了/ 令和4年2月
------	----	-----	--------------	------	------------------------

事業実績額 280,712円

事業実施所管 保健福祉課 保健福祉グループ 福祉係

事業の概要	[目的] 新型コロナウイルス感染症の拡大による雇用対策として、介護従事者が不足する介護施設等への就労を促すほか、感染予防により就労環境が激務となっている介護施設等での介護従事者の離職防止対策として、新冠町介護職員初任者研修費助成事業及び新冠町実務者研修費助成事業に上乘せし、自己負担額の全額を助成するもの。もって雇用の確保並びに介護施設等における介護人材の育成と定着を図り高齢者等が安心して暮らすことができる地域社会の実現に資することを目的とする。	指標		R2年度	R3年度		説明
	計画値		10名	10名		補助申請者数	
			実績値	17名	6名		
概要	[対象] 新冠町に住所を有し令和3年4月1日～令和4年3月31日迄の間に介護職員初任者研修又は実務者研修を受講した者	[事業の評価・効果検証] 新冠町では、これまで介護施設等における慢性的な介護員不足解消のため、介護の基礎資格である介護職員初任者研修及び介護職員初任者研修の上位資格となる実務者研修受講費用に対し補助率3分の2（上限5万円）の助成を行っていた。 今年度も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大による離職者の就労支援並びに感染予防により就労環境が激務となっている介護施設等での介護従事者の雇用確保対策として介護資格取得経費助成事業を継続し、資格取得に係る受講費用の全額を助成したものの。 当初は10名の申請者を見込んでいたが、今年度は新冠町社会福祉協議会での介護職員初任者研修が開講されなかったこともあり、昨年度より申請者は減少したが、申請者全員が介護施設等で就労されており、介護職としてのスキルアップが図られ介護人材の定着に寄与したものと判断している。					
	[内容] 助成額 助成対象者が負担した額から新冠町初任者研修助成事業又は実務者研修助成事業において助成した額を控除して得た額の全額。	[今後の取組み] 介護施設等では介護従事者の人材不足により施設運営に大きな支障を来たし介護職の人材育成は行政としても危機感を持って対応すべき課題となっている。この為、今後もコロナ禍における離職者等の就労支援及び介護施設等での人材確保の為、令和4年度においても本助成制度を継続し実施します。					
事業実施状況	[事業実績] ○実務者研修 事業者 三幸福祉カレッジ（新ひだか町会場） 受講者5名 三幸福祉カレッジ（苫小牧市会場） 受講者1名						
備考							

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】

令和3年度事業実施状況及び効果検証に関する資料

事業No	21	事業名	新冠町プレミアム商品券発行事業	事業期間	開始/令和3年6月 ~ 終了/令和4年1月
------	----	-----	-----------------	------	-----------------------

事業実績額 **28,986,861円**

事業実施所管 **企画課まちづくりグループ商工労働観光係**

事業の概要	[目的] 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い落ち込んでいる町内消費を喚起し、新型コロナウイルスの影響により売上が減少している町内事業者を支援することを目的として、プレミアム付商品券の発行・販売の事業を実施したものです。	指標	販売額	説 明		
			計画値	55,500千円		
			実績値	55,310千円		
事業の概要	[対象] 町民一世帯 4冊を最低保証冊数とし、上限を20冊までとしました。 ※実際は申込み多数の為、20冊の希望者は16冊となりました。	[事業の評価・効果検証] 昨年度、販売総額55,500千円・プレミアム率50%と、当町では前例のない商品券事業となり多くの町民に関心を持っていただき、コロナ禍で影響を受けた町内事業者への支援と町内消費の喚起という事業目標を達成できたものと判断しています。 今年度も感染症の再拡大で町内経済に大きな影響が出ている為、本事業を実施し町内経済への影響緩和を図るとともに町内消費を喚起し、町内経済の循環を図ることを事業目標とし本年度も達成できたものと考えます。 また、昨年度の反省から一冊の販売額を10,000円から5,000円にして、年金生活者等の高齢者も購入しやすい環境も整えることができました。 さらに今年度も昨年同様、「往復はがき」にて申込み方法を導入して、購入希望者殺到による混雑を避けることができ、新型コロナウイルス感染症対策に対応することができました。				
	[内容] 町内登録店で利用できる、プレミアム率50%（内10%分については北海道の補助金を活用）の商品券を発行しました。（11,100冊発行） ・一冊7,500円分（500円×15枚綴）利用できる商品券を5,000円で販売。 ※最低保証冊数、1世帯4冊としました。 ・事務費 6,917,461円 ※運営主体～新冠町商工会					
事業実施状況	[事業実績] 昨年同様、購入時の混雑を避ける為、事前申込を行いました。 町内全世帯に対し申込み往復ハガキを配布し、購入希望者のみ申込んでいただく方法です。 令和3年8月16日から8月22日の7日間で販売 ・販売冊数～ 11,100冊（購入冊数 11,064冊） ・販売額 ～55,320,000円（未購入者3世帯、36冊） ※令和3年8月16日発売開始、令和3年12月31日商品券使用期限 ※商品券販売総額 55,310,000円 商品券発行総額 82,965,000円 商品券換金額 82,906,500円 換金率 99.93% 未換金額 58,500円	[今後の取組み] 交付金や北海道の補助金があれば、今後も積極的に活用して本事業を実施致したい。				
備考						



【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】

令和3年度事業実施状況及び効果検証に関する資料

事業No	25	事業名	子育て世帯への臨時特別給付金事業	事業期間	開始/令和3年12月 ~ 終了/ 令和4年3月
------	----	-----	------------------	------	-------------------------

事業実績額 **3,600,000円**

事業実施所管 **町民生活課町民生活グループ社会係**

事業の概要	<p>[目的]</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、子育て世帯に対して、臨時特別な給付措置として実施する。</p> <p>※町内在住の子育て世帯すべてに給付するため、国の示す給付対象外となる所得制限該当者に対して給付するもの。</p>	指標	対象児童			説明
	計画値		30			
	実績値		36			
<p>[対象]</p> <p>中学生以下及び高校生年代（H15.4.2～H18.4.1生）までの児童を養育する者であり、児童手当算定時に特例給付に該当する所得のある者</p> <p>※基準日：令和3年9月30日</p> <p>※基準日の翌日から令和4年3月31日までの間に出生した児童を含む。</p>	<p>[事業の評価・効果検証]</p> <p>国の子育て世帯への臨時特別給付金制度外となる全世帯へ支援給付することができた。</p>					
<p>[内容]</p> <p>○給付見込額：3,000千円</p> <p>○給付金額：児童一人当たり 100千円</p> <p>○対象者児童：30人</p> <p>※国の子育て世帯への臨時特別給付金において、所得制限により対象外となる世帯の児童</p>						
<p>[事業実績]</p> <p>3,600,000円の給付</p> <p>内訳) 36人×100,000円=3,600,000円</p>	<p>[今後の取組み]</p> <p>今後も国の制度内容を理解した上で、必要な給付措置をする。</p>					
備考						

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】

事業実施状況及び効果検証に関する資料

事業No	26	事業名	福祉灯油支給事業	事業期間	開始/令和3年11月 ~ 終了/ 令和4年3月
------	----	-----	----------	------	-------------------------

事業実績額 3,483,226円

事業実施所管 保健福祉課 保健福祉グループ 福祉係

事業の概要	[目的] 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、家庭で過ごす時間が増加する中、灯油価格が高騰し暖房費の負担が増している為、低所得の高齢者世帯等へ灯油購入経費の一部を助成し、生活の安定を図ることを目的とする。	指標	R3年度		説明 支給世帯数
	計画値		350世帯		
	実績値		344世帯		
事業の内容	[対象] 令和3年12月1日現在で町内に住所を有する町民税非課税世帯（生活保護世帯を除く）で、かつ次の①～③の何れか1つの要件に該当する世帯。 ①高齢者（65歳以上）のみの世帯 ②障害者手帳（身障・療育・精神）の交付を受けている世帯。 ③ひとり親家庭等医療費受給者証の交付を受けている世帯。 （施設入所者及び長期入院者を除く）	[事業の評価・効果検証]  350世帯の交付見込で予算措置していたところ、379世帯より申請を受け、この内344世帯へ灯油券を交付。新聞折り込みや2度の町政事務委託文書等での周知により、概ね見込通りの交付世帯数になると共に、前回実施時（H30年度）の交付世帯数336世帯より8件増加となる。  【交付内訳】 高齢者世帯 297世帯 障がい者世帯 27世帯 ひとり親世帯 20世帯 合計 344世帯 ※対象要件に重複あり、高齢>障がい>ひとり親の優先順位で対象を区分 ※非該当者35件のうち、29件は課税世帯。			
	[内容] 助成額：町内灯油販売業者で使用できる1万円分の福祉灯油券を交付 申請期間：令和3年12月1日～令和4年1月31日まで 使用期限：令和4年3月31日まで				
事業実施状況	[事業実績] 【経費内訳】 ・福祉灯油支給費 3,379,000円（344世帯×1万円。（未使用額61,000円）） ・消耗品費 13,770円（灯油券作成用カラー用紙、周知用チラシ用紙） ・通信運搬費 83,936円（特定記録郵便により灯油券郵送） ・広告料 6,520円（事業周知用新聞折込チラシ） 合計 3,483,226円	[今後の取組み] 今後も灯油価格の推移を注視し、事業の実施について判断していく。			
備考					

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】

令和3年度事業実施状況及び効果検証に関する資料

事業No	27	事業名	漁船操業緊急支援事業	事業期間	開始/令和4年2月 ~ 終了/令和4年3月
------	----	-----	------------	------	-----------------------

事業実績額 1,520,000 円

事業実施所管 産業課産業グループ水産係

事業の概要	[目的] 新型コロナウイルス感染症の長期化に伴う消費停滞や魚価安の影響を受け、出魚自粛による生産減少など経営が厳しい漁船漁業を営む経営体に対し、操業に必要な経費の一部を支援し事業の持続性を図る。	指標	経営体数			説明															
		計画値	9経営体			指標は経営体数															
		実績値	9経営体																		
事業実施状況	[対象] ひだか漁業協同組合新冠支所所属組員（9経営体）	[事業の評価・効果検証] 近年の漁業経営体を取り巻く環境の厳しさに加え、新型コロナウイルス感染症の長期化の中、漁業経営体が次期経営を継続するための下支えとなり、経営継続に貢献できていると考える。																			
	[内容] 経営体が操業継続のため、燃料費や漁業用資材等、その他必要な経費に係る支援として、漁船の規模で交付単価を設定し、令和3年12月末時点での漁船登録数を乗じて金額を算出し支援金を支給するもの。	<p>&lt;参考 漁獲実績&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>漁獲量 (t)</td> <td>576</td> <td>455</td> <td>567</td> </tr> <tr> <td>漁獲金額 (千円)</td> <td>283,595</td> <td>278,460</td> <td>212,646</td> </tr> <tr> <td>Kg 当たりの単価 (円)</td> <td>493</td> <td>612</td> <td>375</td> </tr> </tbody> </table>						令和元年度	令和2年度	令和3年度	漁獲量 (t)	576	455	567	漁獲金額 (千円)	283,595	278,460	212,646	Kg 当たりの単価 (円)	493	612
	令和元年度	令和2年度	令和3年度																		
漁獲量 (t)	576	455	567																		
漁獲金額 (千円)	283,595	278,460	212,646																		
Kg 当たりの単価 (円)	493	612	375																		
	[事業実績] 動力船 (5トン以上) @200,000円×2隻=400,000円 動力船 (5トン未満) @100,000円×7隻=700,000円 船外機船 @30,000円×14隻=420,000円 合計 1,520,000円	[今後の取組み]																			
備考																					

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】 令和3年度事業実施状況及び結果検証に関する資料

事業No	28	事業名	学校補保健特別対策事業費補助金（小学校）	事業期間	開始/令和3年12月 ～ 終了/令和4年3月
------	----	-----	----------------------	------	------------------------

事業実績額 **1,502,952円**

事業実施所管 **管理課管理グループ学校教育係**

事業の概要	[目的] 感染症対策防止の徹底、児童の学習保障の取組を継続して実施するため、必要な学習環境を整備する。	指標	元年度	2年度	3年度	説明 学習環境の整備率 計画対象校 新冠小学校、朝日小学校	
			計画値		100%		100%
			実績値		100%		100%
事業の概要	[対象] 新冠小学校、朝日小学校	[事業の評価・効果検証] ・感染症対策備品 (ペーパータオル・手袋) 新型コロナウイルス感染症対策として、衛生面の向上及び接触を減らすことにより感染リスクの低減を図ることができた。  ・学習環境整備備品 (書画カメラ) 通常の授業において、感染症対策として生徒の間隔を空けて実施する必要があることから、鮮明な画像を映し出すことで効果的な授業を行える。休校時のオンライン学習においても、画像が鮮明で通常の授業に近い形での実施が可能となった。					
	[内容] ○ペーパータオル 新冠小学校 @6,720円×50箱×1.1=369,600円 朝日小学校 @6,720円×16箱×1.1=118,272円 ○手袋 新冠小学校 @1,800円×160箱×1.1=316,800円 朝日小学校 @1,800円×96箱×1.1=190,080円 需用費計 994,752円 ○書画カメラ 新冠小学校 @33,000円×6台(普通)×1.1=217,800円 朝日小学校 @33,000円×8台(普通+特支)×1.1=290,400円 備品購入費計 508,200円						
事業実施状況	[事業実績] ○新冠小学校 ・ペーパータオル 50箱 1日6枚×250人×200日=300,000枚(1箱 6,000枚) ・手袋 160箱 1日4枚×10クラス×200日=8,000枚(1箱 50枚) ・書画カメラ 6台(普通学級)  ○朝日小学校 ・ペーパータオル 50箱 1日10枚×50人×200日=100,000枚(1箱 6,000枚) ・手袋 160箱 1日4枚×6クラス×200日=4,800枚(1箱 50枚) ・書画カメラ 8台(普通学級+特別支援学級)	[今後の取組み] 今後も感染症対策防止の徹底、児童の学習保障の取組を継続し、教育活動の実施を図る。					
備考							

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】 令和3年度事業実施状況及び結果検証に関する資料

事業No	28	事業名	学校補保健特別対策事業費補助金（小学校）	事業期間	開始/令和3年12月 ～ 終了/令和 年 月
------	----	-----	----------------------	------	------------------------

事業実績額 894,432円

事業実施所管 管理課管理グループ学校教育係

事業の概要	[目的] 感染症対策防止の徹底、児童の学習保障の取組を継続して実施するため、必要な学習環境を整備する。	指標	元年度	2年度	3年度	説明 学習環境の整備率 計画対象校 新冠中学校	
			計画値		100%		100%
			実績値		100%		100%
事業の概要	[対象] 新冠中学校	[事業の評価・効果検証] ・感染症対策備品 (ペーパータオル・手袋) 新型コロナウイルス感染症対策として、衛生面の向上及び接触を減らすことにより感染リスクの低減を図ることができた。					
	[内容] ○ペーパータオル @6,720円×56箱×1.1=413,952円 ○手袋 @1,800円×96箱×1.1=190,080円 需用費計 604,032円 ○書画カメラ @33,000円×8台（普通+特支）×1.1=290,400円 備品購入費計 290,400円	・学習環境整備備品 (書画カメラ) 通常の授業において、感染症対策として生徒の間隔を空けて実施する必要があることから、鮮明な画像を映し出すことで効果的な授業を行える。休校時のオンライン学習においても、画像が鮮明で通常の授業に近い形での実施が可能となった。					
事業実施状況	[事業実績] ・ペーパータオル 56箱 1日10枚×170人×200日=340,000枚（1箱 6,000枚） ・手袋 96箱 1日4枚×6クラス×200日=4,800枚（1箱 50枚） ・書画カメラ 8台（普通学級+特別支援学級）	[今後の取組み] 今後も感染症対策防止の徹底、児童の学習保障の取組を継続し、教育活動の実施を図る。					
	備考						